

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 10 月 17 日～平成 18 年 10 月 24 日)

平成 18 年 10 月 25 日  
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

10 月 24 日(火)

- 第 3 回 L N G 推進系飛行実証プロジェクト評価小委員会  
【井口委員長、松尾委員、青江委員、森尾委員】

宇宙開発に関する国内の動向

10 月 21 日(土)

- 技術試験衛星 型 (ETS-) の愛称、キャッチフレーズ、  
シンボルキャラクター発表

【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は、技術試験衛星 型の愛称を、技術試験衛星シリーズで受け継いでいる「きく」を用い、「きく 8 号」とし、キャッチフレーズを「大きなアンテナがひらく未来の扉、届ける安心 大型衛星を使った新しい携帯通信の世界へ」とした。また、きく 8 号のシンボルキャラクターとして「きくはちぞう」を登用した。

10 月 24 日(火)

- 陸域観測技術衛星「だいち」の定常観測運用への移行及び観測データの一般提供開始

【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

宇宙開発に関する海外の動向

10 月 19 日(木)

- MOST・FSA 間、KSLV ロケット等の宇宙技術保護協定締結

【韓・露】

10 月 17 日(火) 韓国科学技術部 (MOST) 及びロシア連邦宇宙局 (FSA) は、ロシアから韓国に提供される低軌道衛星打上げ用ロケット (KSLV) の開発等に含まれる機微技術情報の第三国への移転禁止について、宇宙技術保護協定を締結した。KSLV の打上げについては、当初予定の 2007 年末から 2008 年に遅れる模様。

10 月 20 日(金)

- 韓国・ベトナム、小型地球観測衛星の共同開発で MOU 締結

【韓・越】

10 月 19 日(木) 韓国最大の航空宇宙関連企業である韓国航空宇宙産業 (KAI) 社は、小型地球観測衛星の開発に関する了解覚書 (MOU) を、ベトナム科学技術院 (VAST) と締結した。同 MOU には、衛星開発のための技術移転や協力が含まれている。

- ソユーズ ST ロケット、周回型気象衛星の打上げに成功

【露・欧】

10 月 19 日(木) 16 時 28 分 (世界標準時) Starsem 社は、バイコヌール宇宙基地より、ソユーズ ST ロケットを打

ち上げ、欧州気象衛星機構（EUMETSAT）の周回型気象衛星「メトッパ A（Metop-A）」の所定の軌道投入に成功した。打上げ時の重量は約 4t。

10月23日（月）

- **プログレス補給船の打上げに成功【露】**

10月23日（月）13時41分（世界標準時、以下同じ）、バイコヌール宇宙基地からソユーズロケットによりプログレス補給船が打ち上げられた。同補給船には、約 2.5 t の燃料、酸素等、国際宇宙ステーション ISS) の補給物資が搭載されている。同補給船は、10月26日（木）14時28分にISSにドッキングする予定。